

[ホーム](#)[県内ニュース](#)[全国・海外](#)[スポーツ](#)[社説](#)[連載](#)[ホーム 【 PRWire】](#)

## 日本医師会会長選挙における公約とビデオメッセージを横倉義武現会長が公開

2020年06月24日 14時59分

いいね！ 7 シェア

ツイート



横倉義武・日本医師会会长

コロナ禍で地域医療を再興する強い覚悟を示す

2020年6月24日

日本医師会会長選挙 横倉義武選挙対策本部

横倉義武現日本医師会会长横倉義武先生が、立候補（2020年6月27日投票）に際し、公約とビデオメッセージを公開

【画像：<https://kyodonewspwire.jp/img/>】

### ◆横倉会長の立候補に対する想い

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大、そして医療提供体制へ大きな影響を及ぼしえない敵から国民の命と健康を守るために、これまで育んできた知見、経験など持てる資源を全うすると感じています。会員、医療従事者、今までの専門家、そして国民と共に、こうした有事に備えて、体制を構築していきます。

コロナ禍への対策は喫緊の問題で全力で進めなければ、通常の医療に対しても果たしていかなければなりません。コロナ禍のなかでの対策は喫緊の問題であります。医療に対しても果たしていかなければいけないとして進めていく全般的なことについての公約をスタートしているものもあります。

### ◆立候補にあたっての公約

- I 臨床現場を支えている医療機関を守る
- II 臨床現場にエビデンスに基づく知見を届ける
- III コロナ禍時にもとめられる社会のあり方への提言を作成する

## ◆ビデオメッセージ

### I 臨床現場を支えている医療機関を守る

ビデオメッセージ（第1回）<https://youtu.be/mL5B5UnNr4A>

### II 臨床現場にエビデンスに基づく知見を届ける

### III コロナ禍時にもとめられる社会のあり方への提言を作成する

ビデオメッセージ（第2回）<https://youtu.be/O1pcD7I-Buk>

## ◆公約とこれまでの実績

### I 臨床現場を支えている医療機関を守る

医療機関を守ることは、生活を営むあらゆる人を守ることにはかなりません。新型コロナウイルス感染症の影響で、医療機関はもちろんのこと、一般診療を行う医療機関においても、経済的な苦境は目を覆うばかりでなく、マスク・手袋などの不足もかなり深刻な状況が続いています。

問題が顕在化してから今日まで、この問題に取り組むべく、政府との交渉などさまざまに活動をしてきました。そのうち、同感染症緊急包括支援交付金は第1次補正予算の1,490億円から第2次補正予算（予算額 = 1兆6,279億円、介護等 = 6,091億円）を確保しました。

第二次補正予算は日本医師会の意向が全面的に反映され、新型コロナウイルス感染症の最前線で奮闘する医療機関を守るために、これまで以上に活動を続けてきました。

医療機関の経営が悪化する中、政府は27日に閣議決定した2020年度第二次補正予算案で、計上しました。そのうち、同感染症緊急包括支援交付金は第1次補正予算の1,490億円から第2次補正予算（予算額 = 1兆6,279億円、介護等 = 6,091億円）を確保しました。

#### ●新型コロナ緊急包括支援交付金の増額及び対象拡大

#### ●地域医療確保支援

#### ●診療報酬による対応

#### ●優遇融資の拡充や他産業と同様の支援

#### ●他産業と横並びの中小企業支援

### II 臨床現場にエビデンスに基づく知見を届ける

現状では現場の混乱やリスクを回避することがとても重要です。4月18日、日本医師会は、学有識者と共に、「COVID-19有識者会議」（座長：永井良三 自治医科大学学長）を新たに設立しました。これは、緊急事態宣言下にあるわが国において、新型コロナウイルス感染症の感染爆発と医療崩壊を防ぐことを目的として設立したものです。

政府の『新型コロナウイルス感染症対策専門家会議』と本有識者会議との関係についても、医学的視点から議論されており、本有識者会議は、主に、臨床の観点からエビデンスのあるものであり、対立するものではなく“車の両輪”と言うべきものです。政府の専門家会議には日医丸山会長が、その発言がより重みを増すためにも、本有識者会議の先生方と臨床上のさまざまな知見を共有する。発足以来ここで発信された臨床上の有益な知見を、いち早く現場の医師に伝えられる。これまでに多くの有益な提言を行いましたが、この活動をさらに充実させ継続的に運営してまいります。

また、診療所などの外来医が無理なく新型コロナウイルス感染症に対応し、患者が安心して境を整備してまいります。これは一刻一刻変化する状況の中で継続的に、迅速な対応が求められるウイルス感染症外来診療ガイド（第2版）を発表しています。今後的情勢の変化をみながら、ながら第3版に繋げていきたいと思います。

※新型コロナウイルス感染症外来診療ガイド（第2版）【日本医師会】

[http://dl.med.or.jp/dl-med/kansen/novel\\_corona/shinryoguide\\_ver2.pdf](http://dl.med.or.jp/dl-med/kansen/novel_corona/shinryoguide_ver2.pdf)

※新型コロナウイルス感染症外来診療ガイド－役立つリンク集【日本医師会】

[http://dl.med.or.jp/dl-med/kansen/novel\\_corona/link/yakulink.pdf](http://dl.med.or.jp/dl-med/kansen/novel_corona/link/yakulink.pdf)

### Ⅲ コロナ禍時にもとめられる社会のあり方への提言を作成する

3つの基本姿勢、すなわち、Action 積極的な行動、Balance 全ての取り組みに偏りない政  
挑戦－この姿勢を持って3つの基本方針を進めていきます。

「新しい生活様式」にも対応する3つの基本方針は、

(11).かかりつけ医を中心とした健康な「まちづくり」、(22).医療政策をリードし続ける「組織づくり」、(33).将来の医療ビジョンを見据えた強固な医療体制と「人づくり」のなかで、

(1)かかりつけ医を中心とした健康な「まちづくり」

1. 健康寿命の延伸と全世代型社会保障の実現
2. 危機管理体制の強化
3. 地域包括ケアのさらなる推進とかかりつけ医機能の充実
4. 医師の働き方改革
5. 医療事故調査制度の円滑な運営と提言

(2)医療政策をリードし続ける医師代表としての「組織づくり」

1. 命と尊厳を守る医療の推進
2. 組織強化に向けた医師会入会の促進
3. 医学の発展と医療の充実に貢献する「医師を代表する団体」への発展
4. 機動力を発揮するための自律と有機的連携
5. 医師連盟強化に対する支援
6. 医師国保組合の存続・発展への支援
7. 消費税の見直しと、税制・社会保障制度全般の再検討

(3)将来の医療ビジョンを見据えた強固な医療体制と「人づくり」

1. 医療界の代表として、感染症拡大防止と医療崩壊回避を支援
2. 日本の医療のあるべき姿「グランドデザイン」のさらなる展望
3. A I · I C T 化による進化する医療
4. 若手医師の育成強化とリモート会議等の環境整備
5. 国民の信頼にこたえる新専門医制度の構築

ここで掲げた各項目を縦糸とすると横糸となるべきは、(3)の2に触れた日本の医療のあくまで年発表した「日本の医療のグランドデザイン2030」のアクションプランを実行することによって実現していくのだと思います。

アクションプランは、第1期、第2期、第3期と続いている予定ですが、第1期は本年7月1日からです。